

【研修会参加報告】

西部隣協現地視察研修会に参加して

生活相談員 西村 一成

10月8日、令和6年度西部隣協現地視察研修会に参加し、岡山県津山市美作にてフィールドワークで美作騒擾について学びました。

美作騒擾は、明治6年5月26日から6月1日までの7日間、北条県西条郡（現・鏡野町）にて一揆が勃発。暴力で明治政府の文明開化政策全般の廃止を目指していたと考えられます。暴力の対象が被差別部落に向けられ、多くの家々が焼き討ち・打ち壊しにあい死者、負傷者が出ました。

これには、江戸時代から続く農民の持つ、穢れ意識と排除意識が大きく影響しています。江戸時代、多くの藩では死んだ牛馬の処理を被差別部落の人間に引き受けさせることが、共同体維持のために必要であったと考えられます。

明治4年の解放令により掃除役（清め役）が解除され、村の清浄化機能が停止したことで日常的な村の秩序は大きな混乱を招くことになります。

明治新政府は、このことも含めた多くの問題を未解決としたままにしました。このため、その後の近代日本の民衆支配層は、時代に合わせた新たな差別概念を再生し続けることとなるのです。

今回初めて美作騒擾のことを知り、現地に向きガイドの案内で視察をしました。ここで強く感じたのは、人間の愚かさ、集団で事が動き出すと止められない無力感です。現代でも、世界中で紛争が絶えません。やられたらやり返すの繰り返しで、終わりが見えない状況です。

美作騒擾は、悲しい出来事ですが被差別部落の人が報復をせず、これにより被害が拡大しなかったことは、不幸中の幸いだったと思います。

また、騒擾を起こした村でも、一部の人は被差別部落の子どもをかくまい、助けた人や被差別部落を襲撃しないよう説得した人もいたようです。自分の身に危険が及ぶかもしれない状況にも関わらず行動を起こしたのです。集団で事が悪い方向に動いても、自分の意思を貫き通す人がいたということは特筆すべきことだと思います。

戦争を含め、過去に起きた人権を踏みにじる出来事、部落問題、そして美作騒擾、これらのことは黙っていればそのうち忘れる、寝た子を起こすなということでは解決しない問題です。

日本の歴史として、ちゃんと後世に伝えていかなければならないとの思いを強くして帰路につきました。

..... << 12月の行事予定 >>

◆料理教室

開催日：12月9日（月）

今回の料理教室では、通常のおせちではなく「少し変わった」おせち料理作りをします。お楽しみに！



◆健康教室

開催日：12月10日（火）

役場健康福祉課の方に来ていただきます。内容は当日をお楽しみに！



日野町 歴史の窓

第4回「城下町と御地頭さま」

文：町教育委員会事務局

日野町は歴史と文化に富んだ地域です。大雑把にいうと、根雨は宿場町、黒坂は城下町として栄えました。黒坂は5万石の関家から3千5百石の福田家の領地として町づくりが成され、一国一城令により城郭は取り壊されましたが、武士階級が住む武家地（殿町）と、庶民の居住地（郡町）はか8つの町割り）が残っています。

江戸時代を通じて黒坂を統治した福田氏は、戦国時代に山城国（京都府）に領地を構えていた武士でしたが、慶長年間（1596 - 1615年）に池田輝政・池田忠継に仕えて、播磨（兵庫県南部）や備前（岡山県南部）など

領地を転々とし、寛永9（1632）年、池田家の因幡・伯耆への国替えに従い、黒坂を拝領することになりました。



▲福田家墓地（4代久武・8代久寧）

福田氏は黒坂城の一部に「陣屋」という屋敷を構え、町の統治を行いました。これを「自分手政治」といいます。町の人や周辺村々の人々は福田氏のことを「御地頭様」と呼んでいたという伝承が残り、日野高校黒坂校舎裏の山の中腹には「お墓さん」と呼ばれる巨大な墓碑があります。城下から見上げる石垣や、陣屋から見下ろす黒坂の町、点在する寺社など、黒坂にはさまざまなところに福田氏の町づくりや、その営み、城下町の歴史を偲ばせる場所があります。

～こんにちは、消費生活相談員です～

知って安心！消費生活のはなし



PASSWORD...



思いついたときに！もしもに備えるデジタル終活

《こんな話が…》亡くなった父のスマホを開こうとしたら、パスワードの入力を求められた。誕生日や心当たりのある数字など何度か試すうちに、初期状態に戻ってしまい、写真やデータがすべて消えてしまった。パスワードを連続ミスすると、自動消去される設定だったようだ。友人に葬儀の連絡をしようにも、連絡先が分からず大変困った。（30代 男性）

〈大事なものはロック解除とパスワード〉

日ごろからスマートフォン（パソコン）を使っている人は、お金や契約などの重要な情報をそれらで管理している場合が多いのではないのでしょうか。遺された家族が必要な情報を調べられるように備えておくとう安心です。

▼ロック解除の方法を知らせる

▼月額料金がかかるもの、お金に関することはIDとパスワードをリスト化しておく

▼家族に見てほしいものは、わかるようにまとめておく

これらを一覧にまとめて、年金手帳など大事な書類と一緒に保管しておくといいですね。年に1度程度の更新を忘れずに。



日野郡3町では、第1・2・3水曜日に相談員が輪番で対応しています。（くらしのカレンダー参照）

★相談は、消費生活相談窓口（役場産業振興課内）（電話 72-0336 または局番なしの188）へ！